

SOCIAL WELFARE CORPORATION

NANPUKAI

shalom minamikaze

2025



A photograph of two people walking in a park during autumn. The scene is dominated by a large, vibrant green tree on the left side, which casts a long shadow across the grass. The ground is covered with fallen yellow and orange leaves. In the background, there are other trees with autumn-colored leaves and a building. The sky is blue with scattered white clouds. The text "love your neighbor" is overlaid in the center of the image.

love your neighbor



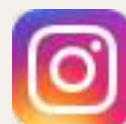
目次

04.....	南風会の理念とビジョン
06.....	2025年度 事業計画
08.....	施設長挨拶
10.....	CSR活動
12.....	地域貢献・地域交流
14.....	芸術活動支援
16.....	ボランティア・実習生
18.....	館内案内・施設構造・職員体制
20.....	提供サービス（生活介護）
22.....	提供サービス（施設入所支援）
24.....	提供サービス（自立訓練 就労継続）
25.....	提供サービス（短期入所 相談支援）
26.....	相談支援計画作成フローチャート
27.....	人事制度 キャリアアップイメージ
28.....	職員インタビュー
29.....	ご寄付のお願い
30.....	メディア出演 書籍掲載
31.....	法人沿革
32.....	青梅拠点事業所紹介
33.....	アクセス 法人概要
34.....	Q&A

WEB shalom-minamikaze.jp
MAIL minamikaze@nanpukai.or.jp



WEB/CAFE ombrage-cafe.jp
MAIL/CAFE ombrage@nanpukai.or.jp
INSTAGRAM www.instagram.com/ombrage_cafe/





ISO9001 認定事業所



働きやすい福祉の職場宣言



女性の活躍推進企業登録済



【福祉QC 東京大会】

2020年度 金賞受賞

2021年度 金賞受賞

2022年度 金賞受賞

2023年度 金賞受賞

2024年度 金賞受賞

【福祉QC 全国大会】

2021年度 優秀賞

2022年度 奨励賞

2023年度 奨励賞

2024年度 優良賞

【QCサークル】

関東支部京浜地区

2021年体験事例優秀賞

2024年優秀賞

【受講済】

令和5年度 東京都障害者

虐待防止・権利擁護研修

障害者福祉施設等職員コース

令和5年度 新宿区障害者

虐待防止・権利擁護研修

南風会は、社会福祉法人です。

社会福祉法人とは、社会福祉法に基づき社会福祉事業を行うことを目的として設立された法人のことをいいます。

理念

■ 目の前のあなたを大切にします。

私たちは、すべての出逢いを大切にします。
利用者さんとの出会い、ご家族との出会い、
職員との出会い、地域の人との出会い・・・
人は人と出会うことで、人生が変わります。
南風会との出会いや南風会の職員たちとの出会いが、
利用者さんやご家族や地域の人たちの
幸せにつながっていくよう
私たちは、そのひとつひとつを大切にしていきます。

目標

■ 安心、安全

安心とは、自分の居場所があること。
自分を理解して大切にしてくれる人がいること、
失敗しても大丈夫だと感じられること、自分らしく生きられること、
素直に自己表現しても疎んじられないこと。
安全とは、事故がないこと、怪我をしないこと。
重い病気にならないこと、怒鳴られたり、
殴られたり、無視されたりなどの虐待を受けないこと。
私たちは常に利用者の安心・安全を第一に考えています。

行動基準

■笑顔、挨拶、清潔

- 笑顔-

私たちは、しあわせを感じるような笑顔で対応します。

- 挨拶-

私たちは、いつでも気持ちの良い挨拶をし、積極的にコミュニケーションします。

- 清潔-

私たちは、整理整頓、衛生管理を心掛け、気持ちの良い環境を用意します。

支援者の心得

■ 傾聴、受容、 共感、実行。

私たちは、福祉の専門職として、人間力と専門性を磨いて、福祉サービスを実践します。

2025年度事業計画



社会福祉法人南風会が取り組むこと

■南風会のミッション（使命）・ビジョン（未来像）

我々は専門的なスキルに基づいた障害者福祉サービスを提供する事を社会的な役割とし、障害があっても安心して生活ができる地域を実現するために存在します。

南風会はガバナンスを強化し、地域に求められる法人となり、利用者やご家族、職員や地域の関係者からの期待に応えられる社会資源となるために、法人直轄のプロジェクトを実施します。

南風会は青梅拠点、新宿拠点の施設整備を終え、新たに地域の福祉ニーズに応えるため、職員の育成をも目的とし、新規事業を開発し、地域貢献を行います。

■法人プロジェクト

- 1、職員採用プロジェクト
- 2、職員育成プロジェクト
- 3、新規事業開発プロジェクト

昨年度は、南風会設立60周年、シャロームみなみ風設立10周年を、多くの方々のご協力のもと、滞りなく実施することができました。関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。本年度より、新たな一歩を進めてまいります。

令和7（2025）年度は、前年度に実施された報酬改定および障害者総合支援法の改正を受け、生活介護事業の開所時間に基づく報酬や細分化された加算項目への対応を進めてきました。一方で、本年度からは、以下のような新たな課題に取り組む必要があります。

- 障害者支援施設利用者の地域移行に向けた本人意思の確認
- 個別支援計画作成時の本人参加の確保

また、障害者支援施設の利用者における地域移行促進に関して、全国的には3年間での定員5%削減が求められています。しかしながら、東京都や青梅市の障害福祉計画には削減方針が示されておりません。当法人としては、利用者やそのご家族の強い要望に応え、居住支援の拡大を目指して事業を進めてまいります。また、国連が目指す「一人ひとりの思いが実現する普通の生活」を提供すべく、事業展開を図ってまいります。



理事長
指田 修



常務理事
山下 望

2025年度事業計画

新規事業プロジェクトとして、本年度は青梅市内今寺にて「ケアホーム南風イースト」の増床を計画・実行する予定です。さらに、新宿拠点においても共同生活援助を設置すべく努力を重ねております。また、令和8年度には、板橋区大山にある渋沢栄一が設立した東京養育院の都有地を活用し、共同生活援助と生活介護事業所を併設した施設を設立する予定です。今後も地域の福祉ニーズを的確に捉え、利用者とそのご家族の福祉向上に努めてまいります。

職員採用プロジェクトにおいては、少子化の影響を受け、新規採用が年々厳しさを増しています。本年度は、青梅学園にインドネシアから特定技能外国人を2名迎える予定です。これまで日本在住の外国籍職員の受け入れ経験はありましたが、海外から直接採用するのは初めての試みです。そのため、十分な準備を行い、受け入れ態勢を整えたいと考えています。



拠点長より

利用者さんの高齢化・重度化に対応して、昨年度からフレイル予防を重点項目としています。フレイルとは、「病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態」のことを指す医学用語です。今年も、栄養・運動・社会参加に力を入れて行く予定です。

また、この10年で環境が劇的に変化しました。地球温暖化による猛暑と感染症の流行、人口分布の変化による労働人口の減少等、障害者支援の今後を左右するような課題が山積みとなりました。次の10年20年を見据えた中長期の取組が必要となります。福祉の現場では、記録や書類がどんどん増えてきており、間接支援業務の増大による直接支援への影響も見過ごせない事態となっています。

今年度も福祉QCでは、間接業務の効率化をテーマとしてプロジェクトメンバーで取り組むこととしました。このテーマは、数年かけて一つ一つ結実させていきたいと考えています。今後更に進む労働人口の減少に向けて、支援の質を落とさず必要な記録等の間接業務を確実に遂行するための取組をしていきたいと考えています。

もう一つの大きな取組が、自立訓練（生活）の充実です。グループホーム（以下GH）で暮らしている方、GHを目指す通所利用者さんが増えてきましたが、GHでの暮らしでは多くの課題が見えてきました。体の清潔を保つためのスキルの習得、薬や塗布薬、お小遣いの管理、買い食いによる著しい体重増加とそれに伴う体調不良、自分の希望や気持ちを伝えること等です。しっかりした自立訓練の必要性が見えてきましたので、重点的にプログラムを立てて実施していく予定です。

開設から10年を経て、職員がしっかり成長し、頼もしい存在となりました。一方で、利用者さんは10歳年をとり、健康課題が増えてきました。通院数の増大、介護負担の増大に加えての通年での感染症対策が必要な状況です。訪問医療を有効に活用していくこと等の工夫を重ねながら、徹底した間接業務の省力化を図り、利用者支援の充実を目指していきたいと考えています。10周年記念に贈って頂いた手すりもしっかり利用しながら、フレイル予防、健康管理という生活の土台の上に日々の楽しみを積み上げていきたいと考えています。

新宿拠点 拠点長 廣川美也子



MIYAKO HIROKAWA

施設長より

今年度はシャロームの体制に大きな変化があります。開設から10年間、利用者にも職員にも影響力の大きかった廣川施設長ですが、新宿の拠点長としてシャローム全体を見るだけでなく、新宿区の障害者福祉、福祉人材の育成、地域との橋渡しの役割など、外部での仕事の荷重がさらに増してきます。まずは初心に帰り、利用者の安心・安全を考えていきましょう。

昨年度の新たな取り組みとして、耳鼻科の往診や带状疱疹のワクチン接種、救急時の受け入れ先も見通しが立ってきました。施設内には利用者ご家族からの寄付で設置した手すりも完成しました。安全面では整ってきました。難しいのは利用者さんに安心をどう感じてもらうかです。安心の感じ方は人それぞれ違います。今年一年は今まで以上に一人ひとりの利用者さんの安心を考えてほしいです。そのために、私は今年一年、シャローム内に目を向けていきます。

今まで廣川施設長が行ってきた利用者さんのお話を聞き、ご家族、職員の相談に乗る。それだけで安心を与えられるとは思いませんが、今年1年、私自身も安心安全を考えていく一年にしたいと思います。引き続きご協力ください。

シャロームみなみ風 施設長 渡邊 俊一

SHALOM MINAMIKAZE
**FACILITY
MANAGER**

SYUNICHI WATANABE

CSR活動

企業様向け 社会貢献の ご提案



出張カフェの様子

すぐに始められる企業の社会貢献がここにあります。

すべての企業はただ利益だけを追求するのではなく、社会に対して企業としてできること、企業にしかできないことなどを考えなければなりません。多くの企業はそのために色々な活動を行っています。既にCSR活動を行っている企業様も、これから検討される企業様にとっても、シャロームみなみ風の事業にご賛同いただけましたら、ぜひともご協力ください。

オードブル

(税込3,300円)

お弁当、オードブルの収益はカフェで働く 障害者の工賃へと還元されます。

- 10個よりご注文承ります
- 100個以上のご場合はご相談下さい
- 新宿区内配達いたします
- ※その他の地域につきましてはお問い合わせ下さい



仕出し弁当

(税込800円)

シャロームみなみ風に併設されているカフェレストラン「おんぶらーじゅ」ではオフィスや各種会合、研修会等のランチにぴったりの仕出し弁当を取り扱っております。毎日手作りのお弁当はイベントの主旨にあわせた献立で提供します。

「とにかくボリューム！」のガッツリ系スタイルも、女子会にあわせた彩り鮮やかなヘルシーメニューも、ご希望に応じてお作りします。個数により配達も行っておりますので、ぜひお気軽にご相談下さい。

大変ご好評いただいているオードブル。スポーツ大会、イベント、企業様の各種パーティーなどにぴったりです。こちらもご予算ご要望に応じてメニューを作成しております。手作りならではの季節の彩り鮮やかな特製オードブルをぜひご用命下さい。

社会貢献活動



ポップコーン販売の収益はカフェで働く障害者の工賃へと還元されます。

カフェレストランおんぶらーじゅで製造、販売しているポップコーンは楽天ポップコーンランキングで1位を獲得した「ジェリーズポップコーン」。

ジェリーズポップコーンはすべてのフレーバーで合成着色料を使用していません。ポップコーンの色が淡いのはすべて天然由来の無添加素材だから。お子様も安心して召し上がれるポップコーンです。



カフェレストランおんぶらーじゅ店内にて常時販売をしています。ボリュームたっぷりのサイズで価格は税込430円。さまざまなフレーバーやお得なセット、イベント配布用ミニサイズもご用意しております。素朴な味の手作りクッキー220円も好評です。

お問い合わせ・ご用命は
カフェおんぶらーじゅ迄

TEL 03-5579-8412

MAIL ombrage@nanpukai.or.jp

地域貢献



1

福祉避難所

福祉避難所とは地域の防災計画に基づきあらかじめ指定された社会福祉施設等のことで、シャロームみなみ風は新宿区からこの福祉避難所として指定されています。

大震災のような災害発生時に自宅及び一次避難所で生活が困難であると区が認める高齢者及び障害者等の要配慮者を一時的に受入れ、保護するために開設、運営されます。



2

福祉の地域生活支援拠点

地域生活支援拠点等とは、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた居住支援のための機能をもつ施設を指し、シャロームみなみ風はその指定を受けています。

具体的な機能としては、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保と養成、地域の体制づくりの5つを柱としています。



3

専門性向上研修（新宿区委託事業）

新宿区は障害者地域生活支援体制業務委託事業としてシャロームみなみ風に研修コーディネーターを配置し、専門性研修事業の実施を委託することで区内福祉事業者スタッフの専門性向上を図っています。

福祉サービス種別を問わずLGBT問題など様々なテーマで研修を実施しています。

地域交流行事

アミーゴフェスティバル

アミーゴフェスティバルはシャロームみなみ風が開所年より毎年春に行っている地域交流イベント。地域のボランティア団体や学生団体、社会福祉関連団体、取引企業からプロのアーティストまで様々な団体・個人の協力・協賛を得て盛大に開催しています。

このイベントを通じて地域の皆さまに障害への理解を深めていただき、愛される施設となることを祈り毎年開催しています。



地域交流スペース開放

地域交流スペースは、地域住民が集い、地域福祉のための活動や交流などを目的としたスペースとして開放しています。利用条件等はお問い合わせ下さい。

地域交流

地域交流

芸術活動支援

シャロームみなみ風では障害者の描く作品を「作品」として尊重し、広く発表の場を設けることで障害者および障害者の作り出す作品に対しての理解促進活動を行っています。

東京都の運営するバラエティショップ「KURUMIRU（くるみる）」には障害のある方々が丁寧に手間をかけて作った個性的な手づくり品が揃っています。シャロームみなみ風利用者の作品も都庁都民広場他「KURUMIRU」各店で販売しておりますのでぜひお手にとってご覧ください。



「KURUMIRU」出品作品の一部

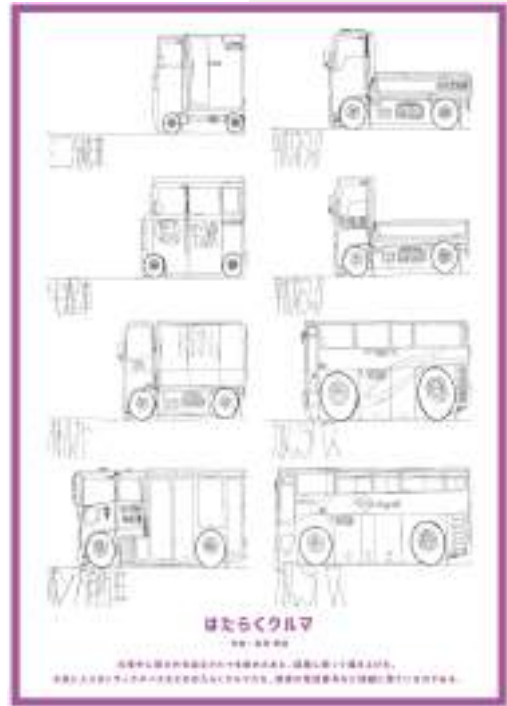


Art Work





シャロームみなみ風は利用者の芸術的才能や個性を発見し育てて社会へ送り出す、また文化芸術活動への参加を通じて生活をより文化的で豊かなものにすることを目的とした活動を推進しています。



シャロームみなみ風に併設されている「カフェレストランおんぶらーじゅ」には、カフェスタッフとして働いている利用者さんの絵がたくさん飾られています。そんな利用者さんの絵が一躍脚光を浴びる出来事がありました。

文芸春秋さんから出版されている野沢直子さん著「笑うお葬式」のカバーイラストに利用者Tさんの絵が抜擢されたのです。野沢さんご本人がこのイラストをお選びくださったそうで、なんともうれしい限りです。



ボランティア受け入れ

ボランティアは随時受け入れしています

シャロームみなみ風では随時さまざまなボランティアを募集しています。日中活動ボランティア、日常生活支援のボランティア、行事ボランティア、研修講師ボランティア・・・普段なかなか直接関わることの少ない障害者のみなさんはとても個性豊か。シャロームみなみ風ではボランティア委員会を設置し、担当職員がサポートいたしますので興味のある方はお気軽にご相談ください。



ボランティア・学生実習・利用者実習の
お問い合わせはこちら

MAIL minamikaze@nanpukai.or.jp
TEL 03-5579-8412

実習生（大学生・専門学校生等）は計画的に受け入れします

「福祉人材の育成」を大切な役割の一つと考え、「社会福祉士」や「精神保健福祉士」等の国家試験の受験資格取得のための現場実習を数多く受入れています。

受け入れにあたっては、それぞれの実習生の希望に沿った「質の高い、学びのあるプログラム」の提供を目指し、実習担当者を配置して、実習プログラムの作成や毎日の振り返りなどを実施しています。

実習受け入れは年間を通じた予約制となりますので、詳細につきましては実習担当までご相談下さい。

人材交流・育成

人材交流・育成

実習生（特別支援学校生徒等）を受け入れします

特別支援学校に通われている生徒のみなさんにとって卒業後の進路は人生の大きなターニングポイントとなります。

これまで学校で学んできたことを実践する初めての機会として、シャロームみなみ風では施設体験実習生を受け入れています。

あいさつ・返事・礼儀作法・身だしなみなどの基本マナーや、就労を目指す方にはスピード・正確性・持続力などの働く能力を高めるための指導を行います。

実習期間中は担当スタッフを配置し、特別支援学校の先生方とも連携を取って体験実習が円滑に進むようサポートします。



施設見学は目的に応じ随時受け付けております（要予約）

シャロームみなみ風では随時見学を受け入れておりますが（要予約）、画一的な見学ではなく、見学者の目的によって内容を変えています。例えば今後サービス利用を検討されている方、就職希望の学生、地域住民の皆様や行政関係者、あるいは今後障害者施設を設立しようと検討中の方々・・・それぞれの目的に合致するよう対応者を設定してご案内いたします。



◀海外の福祉関係者の方もお見えになることがあります。写真はネパールで障害者支援を担当する政府関係者の方々（写真上）、台湾で実際に福祉活動を行っているの方々（写真下）。



日本の障害者支援を熱心に視察していかれました。海外での障害者福祉事情も聞かせていただきました。母国での障害者福祉向上に役立てばと願うばかりです。



▲就職希望の新卒者向けには毎年「ランチ&見学ツアー」を開催しています。

館内紹介



シャロームみなみ風のB1はカフェレストランと就労の作業室、職員更衣室、厨房等があります。

1階フロアは相談支援事業所あんそれいゆ及び事務棟と2階利用者の活動スペース、スタッフルーム、地域交流スペースがあります。

2階は、身体重複障害の方や高齢の方を中心に、全体にゆっくりした動きの方に合わせてあります。車いすを降りて動けるスペースやいざりて利用できる居室やトイレも用意しました。2階の利用者は、1階の活動スペースにはエレベーターを使用して移動します。

朝食と夕食は、ユニットで提供します。ご飯は、各フロアのステーションで炊き、味噌汁やスープの温め、配膳も行います。食事作りの匂いが漂い、食事準備の音が聞こえる、という生活感を大切にします。



B1F



1F



2F





3階は、元気な知的障害の方のフロアです。行動特性に合わせて、居室の壁をクッション性のあるものにしたたり、木製にするなどの工夫をしております。また、浴室は檜風呂で、ゆったりとした気分で入浴出来るように配慮しました。3階の利用者は、4階の活動スペースに階段を利用して移動します。ウォーキングで外に出るときも、階段を利用します。



4階の活動スペースで日中活動を行う方は、食事場所の構造化のために、3階フロアで昼食を提供します。1階、地下1階の活動スペースで日中活動を行う方は、活動スペースで昼食を提供します。日中活動がお休みの日は、3食ユニットで提供します。



※ 館内は禁煙です。

シャロームみなみ風
あんそれいゆ

施設構造 職員体制

東京都新宿区弁天町32番地の6
鉄筋コンクリート造陸屋根
地下1階 地上4階建
延床面積 2938.06平方メートル
敷地面積 1100平方メートル

管理者	2名
支援員	59名
看護師・薬剤師	6名
夜勤専従看護師	9名
作業療法士	1名
事務員	4名
調理員	7名
清掃員	1名



令和7年4月1日時点
※非常勤職員含む

生活介護サービス



常時介護を要する知的障害者に、主として昼間において、入浴、排泄及び食事などの介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言、その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動または生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行います。

提供サービス

シャロームみなみ風は、「知的障害のある我が子が、地域で安心して暮らし続けられる施設がほしい」という新宿区民の長い間の願いを実現するために、平成27年3月、新宿区弁天町に開所しました。

障害のある利用者さんたちが、それぞれの個性を生かし、持っている力を発揮し、その人らしい幸福な人生を送っていただけるように専門的な支援を行っていきます。

シャロームみなみ風の創設の際には、「素晴らしい施設を創ろう!」と夢を抱いて沢山の職員が集ってきました。また、社会福祉法人南風会も、東京のど真ん中の新宿区で、障害のある方やそのご家族、地域住民の安心の砦になるような施設を創ろうと大きな夢を抱いこの事業をスタートしました。

利用者、ご家族、職員、法人、みんなの夢を実現できるよう、職員一同力を合わせ奮闘努力していきます。

活動内容	・創作活動 ・運動・散歩 ・リハビリ ・音楽療法 ・ダンスプログラム ・スポーツプログラム ・入浴（身体との重複の方対象）
対象者	・知的障害のある18歳以上の方 ※身体障害と重複の方も受け入れ可 ・対応できる医療ケアは、経管栄養・バルーンカテーテル・吸引・吸入です。 ・障害福祉サービス受給者証で、各サービスが支給されている方
送迎	バスストップ方式です
申し込み方法	シャロームみなみ風までご連絡ください

のご案内

施設入所支援サービス

施設に入所する利用者に対し、主として夜間において行う入浴、排泄及び食事などの介護、生活等に関する相談及び助言及びその他の日常生活上の支援を行います。

「シャロームみなみ風」は看護師が常駐する医療ケア対応型の障害者支援施設です。地下1階地上4階の建物には太陽光がふんだんに取り入れられ、クッション性のある柔らかな壁や檜風呂など、安全で快適な生活を送るための配慮も随所になされています。この気持ちのよい環境での活動が、利用者の皆さんの表情を自然と明るくしてくれています。

利用者の外出や通院、レクリエーションなど幅広い場面で、特殊車椅子が搭載可能な福祉車両を活用しています。生活介護の送迎にも福祉車両を活用しており、施設の活動になくてはならない存在になっています。



豊かな食事の場を提供します

食事は季節感のあるメニューを中心に、喜びを生み出す食事を提供いたします。定期的な嗜好調査、献立会議を通じてメニューの充実・改善をはかるとともに、生活習慣病の予防、疾病への対応など健康に留意した食事を提供いたします。



調理員は直接雇用

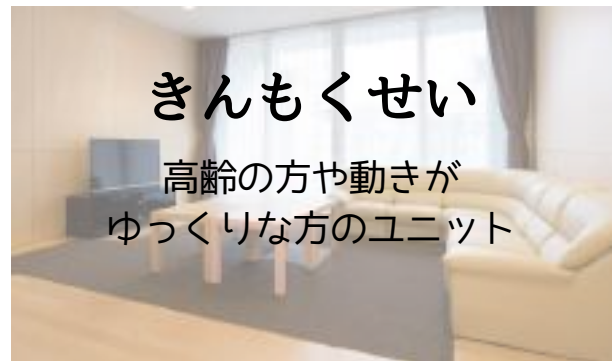
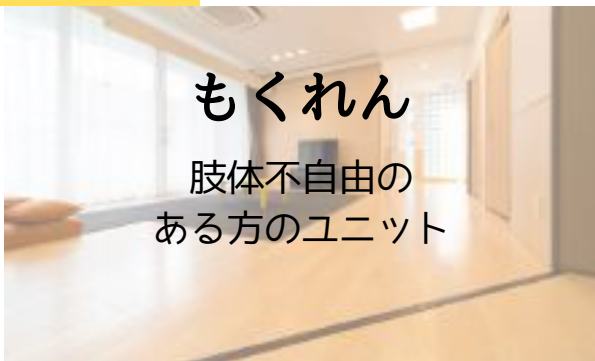
シャロームみなみ風では直接雇用の調理員による給食提供を行っています。外部委託とは違った利用者ひとりひとりに寄り添った食事をフレキシブルに提供しています。

お米は七分づき米を使用

主食のお米は七部づき米を使用。複数の雑穀類を組みあわせる七部づき米は、精製された白米よりも、ビタミン類、ミネラル、抗酸化栄養素が豊富。白米よりGI値を下げる事ができるので、血糖値が急上昇しにくい性質を持ちます。



生活スペース



対象者

知的障害のある方（身体との重複の方含む）
原則として新宿区民の方が対象となります。

申し込み方法

新宿区障害者福祉課へご連絡ください。

自立訓練サービス

自立訓練の内、知的障害者における生活能力の向上に係るもので、入浴や排せつ及び食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を行います。

サービスを受けられる期間は2年間（長期間入院していたその他これに類する障害者にとっては3年間）となります。



活動内容	・洗濯業務 ・清掃業務 ・音楽活動 ・生活訓練 ・調理活動 ・緑化活動
対象者	・知的障害のある方（身体との重複の方含む） ・18歳以上の方
送迎	ご利用希望の方は、相談させていただきます
申し込み方法	シャロームみなみ風までご連絡ください

就労継続支援B型サービス

通常の事業所に雇用される事が困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である障害者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練他の支援を行います。



活動内容	・カフェレストラン「おんぶらーじゅ」の業務 ・緑化、清掃活動
対象者	・知的障害のある方（身体との重複の方含む） ・18歳以上の方
送迎	自主登所となります
申し込み方法	シャロームみなみ風までご連絡ください



短期入所サービス

ベッド数	5床 ※利用者状況に応じて、利用するユニットを決めます
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的障害（身体との重複の方含む）のある18歳以上の方 ・ 障害福祉サービス受給者証で、短期入所サービスを支給されている方 ・ 対応できる医療ケアは、経管栄養・バルーンカテーテル・吸引・吸入です
利用期間	原則として連続して最大7日間
利用方法	事前登録が必要です。①日常生活や行動の特徴についての聞き取り調査（面談）②1泊2日の体験利用（利用日は施設にて利用）を経て利用予約が可能になります
利用受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の特性、利用目的などを考慮し、利用を決定します ※先着順ではありません ～新宿区内の方～ 利用前々月の1日より電話で受付開始（区内申込者で7日に利用調整を行います） ～新宿区外の方～ 利用前々月の8日より電話で受付開始
日中活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 体験利用 ご本人の支援内容の確認の為、日中活動を含めた利用とします ② 通常利用 ご希望の方は、日中活動の利用が可能です
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期入所利用の際の送迎、日中活動先への送迎は行いません ・ 重複障害の方の入浴は、日中の生活介護で対応します ・ 知的障害の方の入浴は、夕方より対応とします

相談支援サービス あんそれいゆ

実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不安や悩みなどの相談に、専門の相談員が対応します ・ 必要な福祉サービスが利用できるようお手伝いします ・ 地域で安心して生活ができるようお手伝いします
主な相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉サービスを利用する際の「サービス等利用計画書」の作成やモニタリング（評価）、見直しなど ・ 必要に応じた事業所やサービス担当者との連絡調整 ※ 当事業所では強度行動障害支援者養成研修（実践研修）、相談支援従事者主任研修を修了している主任相談支援専門員を配置しています。 ● 一般相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域移行支援：施設や病院から地域生活へ移行するための支援 ・ 地域定着支援：地域での生活が継続できるようにするための支援

相談支援事業所 あんそれいゆ サービス等利用計画作成の流れ

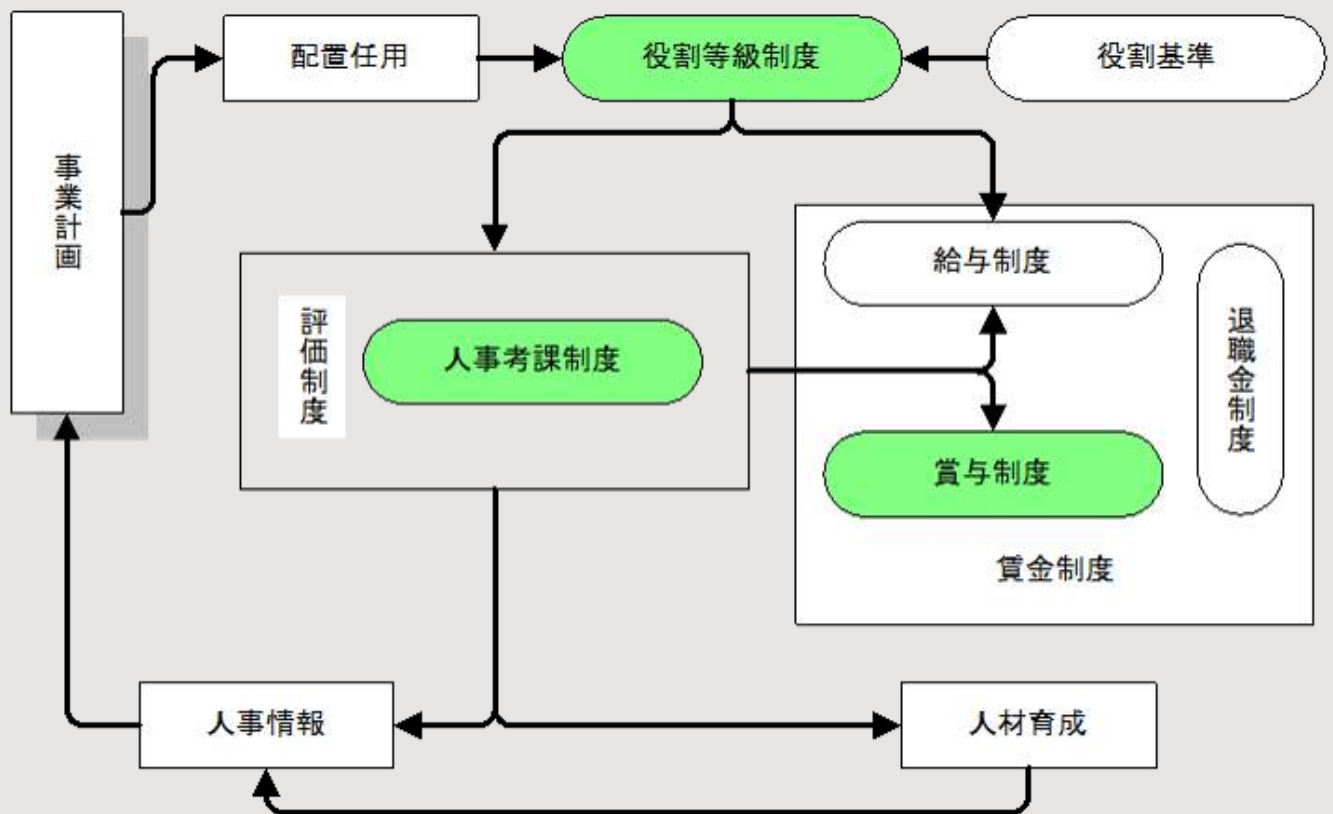
①通知	区よりサービス等利用計画作成の通知。
②作成依頼	相談支援事業所へサービス等利用計画書の作成依頼。電話にて、面接日を設定します。
③面接	保護者の方と、サービス等利用計画作成のための面談をします。 持参物：受給者証(障害福祉サービスと地域福祉サービス)、障害者手帳、印鑑
④調査	通所先へ訪問して、ご本人と職員への聞き取り調査。その他サービス先への現状の聞き取り調査。
⑤作成	サービス等利用計画書(案)を作成します。
⑥提出	ご自宅へサービス等利用計画書(案)を郵送します。問題がなければ、署名・捺印のうえ事業所へ返送願います。その後、区へ事業所から提出をします。
⑦受給者証発行	新しい受給者証が届きましたら、事業所へコピーを提出してください。(郵送でも持参でも可)
⑧作成	正式なサービス等利用計画書を作成します。
⑨提出	ご自宅へ正式なサービス等利用計画書を郵送します。署名・捺印のうえ事業所へ返送願います。その後、区へ事業所から提出をします。
⑩モニタリング	受給者証に記載されている期間で、各事業所や保護者の方へモニタリングを実施します。その後、報告書を提出しますので、署名・捺印のうえ事業所へ返送願います。その後、区へ事業所から提出をします。



職員キャリアアップイメージ人事制度

質の高い福祉サービスを継続的に提供し続けていくためには、一人ひとりの職員がやりがいをもって働き続けられる仕組みが必要です。その点において人事制度は、役割や期待値の明確化、適正な承認や評価の仕組みにより、職員が自分自身の可能性に気づき、成長し続けるための土台となるものです。

南風会の人事制度は一人ひとりの職員の成長と南風会の信頼性の向上に資することを願い、社会福祉法人として法令や運営基準に従って「職員が組織上の立場（担当する仕事や役職）において担う基本的な働き・機能」である「役割」を基軸に作られています。「役割」を基本とした「役割等級制度」を人事管理の合理的運営を図るための支柱となる制度として位置づけ、「役割」に基づいて「評価制度」や「賃金制度」が組み立てられ、「配置任用」や「人材育成」、「賃金配分」といった人事の各機能につなげていきます。



職員個々のスキルアップのために様々な研修も実施しています。近年では「アドラー心理学による対人援助スキルアップ研修」「傾聴スキル研修」「救急救命講座」などを通年開催しています。



福利厚生

各種保険加入

健康保険 厚生年金
労災保険 雇用保険

健康管理

健康診断（夜勤従事者は年2回）
インフルエンザ予防接種費用全額補助

休暇制度

年間公休118日（うるう年は119日）
有給休暇 採用後半年10日※うち指定有給5日（年間消化を義務付け）
産前産後休暇、育児介護休暇、その他結婚休暇等特別休暇多数



職員インタビュー

障害者施設で働くってどういうこと？
南風会で働く先輩社員たちがこの法人、この施設を選んだきっかけ、日々の仕事の苦労話や やりがい、今後の目標について伺ってみました。



片庭希海（シャロームみなみ風 生活支援員）

● これからの自分

林：まだ障害者福祉の分野では経験が浅いので、日々の支援の中で学びを深め、将来は社会福祉士の資格を取得したいです。ご利用者と共に成長し続けられる自分でいたいです。

片庭：資格取得にチャレンジし、学び続けたいです。また、後輩も少しずつ増えているので、周りも巻き込んで支援の質を向上していきたい人になりたいです。

佐藤：4年目に入り、現場の環境や利用者の状態も変化してきました。関連職種と連携し、利用者へより質の高いサービスを提供したいと考えています。自分自身もより色々な知識や経験を学び、先輩方のようなたくましい支援員を目指したいです。

● やりがいを感じる時

林：ご利用者が楽しく働き、新しくできることが増えた時の嬉しそうな表情を見た時に大きなやりがいを感じます。今後も、そのような笑顔を増やせるようにご利用者と関わっていきたいです。

片庭：利用者さんと一緒に目標に向かって頑張り、今まで出来なかったことが出来るようになった時にやりがいを感じます。利用者さんの笑顔からたくさんエネルギーをもらっています。

佐藤：利用者さんから感謝の言葉をもらったときです。自分が考えた支援方針や企画したイベントで「ありがとう」「楽しかった」「またやりたいです」と言われるととても嬉しい気持ちになります。自分の支援が周りや上司から評価されるとやりがい以上のものを感じます。



林 奈都季（シャロームみなみ風 生活支援員）

● 南風会を選んだ理由

林： 地域との関わりが多く、支援を通じて地域の人など、施設の外とのつながりを感じられる仕事に魅力を感じたからです。ご利用者と散歩に行った際に地域の方々と交わす挨拶から温かく見守られていることを感じました。

片庭： 大学で障害福祉について学んでいて、卒業後も障害がある方の支援をしたいと考えていました。さまざまな施設を見的过程中で、新宿の住宅街にある施設ということでシャロームに興味を持ちました。資格取得のサポートが手厚く自己研鑽できる点に魅力を感じ、じ、実際に施設見学した際に利用者さんも職員も明るくいきいきしていて素敵だなと思い、入職を決めました。

佐藤： 私が南風会を選んだ理由はこの法人の理念である「Love your neighbor 目の前のあなたを大切にします」に共感したからです。見学で訪れた際に、利用者の個性を尊重し、気持ちを傾聴する職員の姿を見て「ここで働きたい」と思いました。



佐藤 航（シャロームみなみ風 生活支援員）

interview

ご寄付のお願い

社会福祉法人南風会では当法人の社会福祉活動にご賛同いただける皆さまから随時寄付金を受け付けております。ぜひ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄付の方法に際しましては、① 現金 または ② 銀行振込にて申し受けます。

① **現金**の場合は事務所窓口にてお渡しする「寄付金申込書」をその場でご記入いただき、その場で収受させていただきます。

② **銀行振込**の場合はまずお電話（03-5579-8412）もしくはメール（minamikaze@nanpukai.or.jp）にてお問い合わせ下さい。寄付金申込書を送付させていただきますとともに送金口座をお知らせ申し上げます。

なお、社会福祉法人への寄付については、個人・法人とも**税制上の優遇措置**がございます。

Donation



行政・官公庁の発行する広報誌などにもシャロームみなみ風は度々取り上げられ情報提供を行っています。

中でも併設するカフェレストラン「おんぶらーじゅ」は障害者施設の枠を超えて一般に販売されているカフェ紹介の書籍や雑誌の他、様々なメディアで取り上げられています。



法人沿革

昭和39年10月1日
社会福祉法人 南風会 設立
初代南風会理事長：山下常太郎 就任
昭和47年9月1日
第2代南風会理事長：山下キチ 就任
昭和53年3月30日
作業訓練等完成 103m²
昭和56年11月1日
重度精神薄弱児緊急一時保護事業の委託契約事業開始
平成8年～平成10年3月
施設設備、青梅学園増改築実施 5棟計1,704.17m²
平成10年3月31日
精神薄弱児施設 青梅学園 児者転換により閉園
平成10年4月1日
精神薄弱者入所更生施設 青梅学園開設
平成12年4月1日
知的障害者入所更生施設 青梅学園開設 法改正により名称変更
平成15年4月1日
第3代南風会理事長：山下 勉 就任
平成18年～平成19年3月
施設整備 障害福祉サービス多機能型通所施設かすみの里新築実施 1152.73m²
平成19年4月1日
障害福祉サービス多機能型通所施設 かすみの里開設
平成20年～平成21年3月
施設整備 作業棟新築実施 151.93m²
平成21年10月1日
障害者支援施設(生活介護、施設入所支援) 青梅学園 開設 法改正により名称変更
障害福祉サービス共同生活援助・共同生活介護 ケアホーム南風 開設
平成22年10月1日
相談支援事業所 くらやしき 開設
平成27年3月1日
障害者支援施設 シャロームみなみ風 開設
相談支援事業所 あんそれいゆ 開設
平成30年10月1日
第4代南風会理事長 指田 修 就任
令和元年12月1日
ケアホーム南風 移転 定員増員
令和3年4月9日
青梅学園 全面改築終了
令和6年3月1日
ケアホーム南風イースト 事業開始
令和6年〇月1日
ケアホーム南風イースト ユニット増 事業開始
.....
令和9年3月1日
(仮称)板橋栄町南風 開所予定

ALMOST 60TH HISTORY

Since 1964

Since 1964





障害者支援施設 青梅学園
 施設入所支援 定員40名
 生活介護 定員40名
 短期入所・日中一時 定員04名

青梅市新町1-8-2
 TEL 0428-31-4800
 FAX 0428-32-1250



障害者通所施設 かすみの里
 就労継続B型 定員20名
 生活介護 定員20名

青梅市新町1-8-2
 TEL 0428-31-4800
 FAX 0428-32-1250



ケアホーム
 南風

ケアホーム南風
 共同生活援助 定員10名
 短期入所 定員02名

青梅市野上町2-18-13
 TEL 0428-84-0535



ケアホーム南風

イースト

ケアホーム南風
 共同生活援助 定員10名
 短期入所 定員02名

青梅市野上町2-18-13
 TEL 0428-84-0535



(仮称) 板橋栄町南風

所在地：東京都板橋区栄町35番2

(東武東上線大山駅下車5分)

提供予定サービス：生活介護（重症心身障害者通所事業含む）

共同生活援助 短期入所 相談支援

事業開始：令和9年3月開設予定



アクセス

障害者支援施設 シャロームみなみ風
 施設入所支援 定員45名
 生活介護 定員54名
 自立訓練 定員06名
 就労継続B 定員15名
 短期入所 定員05名

新宿区弁天町32-6
 TEL 03-5579-8412
 FAX 03-5579-8413
 minamikaze@nanpukai.or.jp



Google マップ



●地下鉄東京メトロ東西線
 早稲田駅 1番出口 徒歩13分

●地下鉄都営大江戸線
 牛込柳町駅 東口 徒歩12分

●都営バス 牛込保健センター下車1分
 白61系統 練馬車庫⇔新宿西口



法人概要

名称	社会福祉法人南風会
設立	1964年10月1日
代表者	理事長 指田 修
本部所在地	東京都青梅市新町一丁目8番地の2
職員数	193名
事業内容	第一種社会福祉事業 障害者支援施設の運営 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業の運営

Q.1 どんな人が利用できますか？

シャロームみなみ風を利用できる方は18歳以上の都内在住知的障害者であって、お住まいの市区町村から障害福祉サービスを利用するための「障害福祉サービス受給者証」（以下受給者証）の交付を受けた方となります※1。利用するサービスごとに障害程度区分などの利用条件が異なりますので、まずはお住まいの市区町村の障害福祉課もしくはご利用の相談支援事業所にご相談下さい。

※1 施設入所サービスについてのみ原則として新宿区在住の方が利用可能となっています。

Q.2 施設入所サービスの予約はできますか？

施設入所サービスはご利用の予約、待機者リスト登録などは行っておりません。空床が出た時点で新宿区役所障害福祉課へ連絡を取り、その時点で最も緊急度、優先度が高いと判断される方のうちから入所者を選定させていただきます。

生活介護、自立訓練、就労継続支援などの日中通所サービスについては随時ご相談を受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

なお、短期入所利用申し込みにつきましては以下の通りの流れとなります。

- ① まずはお電話にてお問い合わせ下さい。
- ② 「アセスメントシート」を郵送いたします。現在の心身状況を記入下さい。
- ③ ご本人様、ご家族様で施設に来所いただき利用面談を行わせていただきます。
- ④ 一泊二日の「体験利用」を行っていただきます。
- ⑤ 問題なければ以降は利用2ヶ月前より予約を受け付けます※2。

※2 利用希望が他の方と重なった場合は心身状況、利用目的等を総合的に判断して利用者を決定いたします（先着順ではありません）。

Q.3 利用するのに費用はどのくらい掛かりますか？

障害福祉サービス利用料自己負担分（と給食費用（朝食350円、昼・夕食各600円、光熱水費実費（300円/日）等の費用をいただきます。いずれの費用もご本人、世帯の状況によって各種減免※を受けられる場合があります※3。

※3 生活保護世帯や低所得世帯の方は障害福祉サービス利用料自己負担分の負担がなく、食費も原材料費分のみで利用することができます。

Q.4 医療行為には対応してもらえますか？

看護師は24時間常駐となっておりますが、対応できる医療的ケアは経管栄養・バルーンカテーテル・吸引・吸入となっております。

Q.5 食物アレルギーがあるのですが対応できますか？

シャロームみなみ風は自社職員による給食提供を行っているため、きめこまやかな対応が可能となっています。療養食は糖尿病食、減塩食、カロリー制限などは処方箋に合わせて実施し、食形態も普通食、一口大、あら刻み、ソフト食で対応いたします。アレルギー対応につきましても、とろろ、カキ、あさりなどを除去食で対応するなどが可能ですのであらかじめご相談下さい。

Q.6 外出や外泊はできますか？

新型コロナウイルス感染症の流行以降、関係省庁からの要請もあり、外泊や面会などを一部制限させていただいております。シャロームみなみ風は重複障害をお持ちの方や、呼吸器疾患をもった方も利用されておりますのでご理解いただけますようお願いいたします。

Q.7 施設見学はできますか？

シャロームみなみ風では随時施設見学を受け付けておりますが、見学できない時間帯や実施していない期間もありますので、まずは事前に見学目的、人数、希望日等をメール、お電話等にてお知らせ下さい。

なお、見学に際しましては原則として併設のカフェレストラン「おんぶらーじゅ」にてランチをお召し上がりいただきつつ施設内をご案内する形を取らせていただいております。



施設見学のお問い合わせはこちら


MAIL minamikaze@nanpukai.or.jp

TEL 03-5579-8412

Q.8 虐待防止のための取り組みを教えてください。

障害者虐待防止の更なる推進の為、2022年4月から「虐待防止委員会」の定期開催や従業者への研修の実施等が義務化されましたが、シャロームみなみ風では職員一人ひとりが高い人権意識を持ち、虐待を許さない組織風土を醸成していくために、人権擁護委員会を設置し、虐待防止のための研修やアンケートの実施など利用者の人権を守るための取り組みを行っています。

また、利用者支援の現場に密着した虐待防止を実施するため、責任者は主任とし、虐待防止担当者を各グループのチーフ、窓口は全職員とし、職員ひとり一人「虐待をしない。させない」という明確な意識をもって利用者支援を行っています。



社会福祉法人南風会
シャロームみなみ風

〒162-0851

東京都新宿区弁天町32-6

TEL 03-5579-8412

FAX 03-5579-8413

minamikaze@nanpukai.or.jp

2025年4月発行

目の前のあなたを大切にします。





SHALOM

MINAMIKAZE